

## 業績(成果)主義賃金体系への動き鮮明に — 福井県賃金実態調査結果から

### 賃金実態調査とは

福井県内の企業に従事する労働者の賃金実態と賃金構造を分析し、今後の賃金資料や労働条件検討の際の参考とするために、福井県下7商工会議所が合同で調査を行った。

調査概要	
【調査時期】	平成18年7月
【調査対象】	福井県下3,000社の民間企業を無作為抽出
【調査方法】	調査票の郵送による照会と実訪問き取り
【回答企業】	540社(回収率:18.0%)
【業種内訳】	製造業 30.2% 卸小売業 20.2% 建設業 19.8% その他 29.8% 合計 100.0%

### 実在勤労者賃金(月例賃金)調査

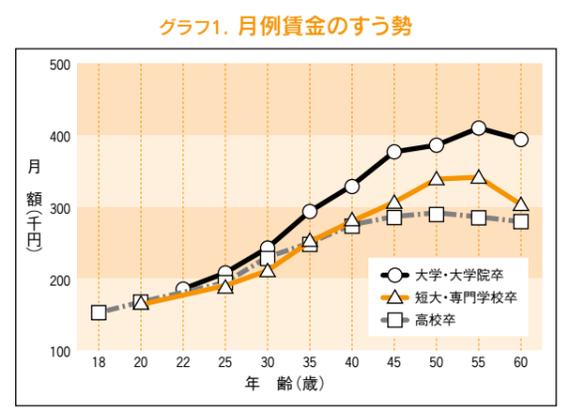
実在勤労者賃金調査は、平成18年4月～6月の3ヶ月間、継続して同一企業に勤務している常用労働者に対して支給された月例賃金を調査したものである。

本調査での賃金とは、所定労働時間内給与(通常正規に予定された労働時間に就労したことに対して支払われる

賃金で、通勤手当や超過勤務手当などを除いた月例支給総額の金額をいう。調査結果は、表1の通りであった。ほとんどの属性で50～55歳で賃金のピークを迎え、その後若干下がる傾向にある。なお、各学歴の全体値のすう勢がグラフ1である。

年齢	大学・大学院卒			短大・専門学校卒			高校卒		
	全体値	総合職	一般職	全体値	総合職	一般職	全体値	事務・販売	生産・技術
18歳	—	—	—	—	—	—	154.6	154.6	154.6
20歳	—	—	—	165.9	169.0	163.0	167.5	157.7	173.0
22歳	185.5	189.3	180.9	—	—	—	—	—	—
25歳	208.0	210.2	199.5	190.2	205.0	189.7	194.5	179.2	199.1
30歳	242.6	256.2	239.9	211.1	237.1	215.2	230.0	214.8	233.9
35歳	293.4	309.1	276.5	251.3	276.9	238.9	249.6	247.3	251.6
40歳	329.4	354.0	300.5	279.9	289.9	260.5	275.0	258.0	283.5
45歳	377.9	413.2	337.3	306.2	353.2	276.6	286.4	290.3	290.2
50歳	385.5	415.4	350.5	338.4	399.1	299.5	291.6	304.8	304.6
55歳	409.4	434.9	350.1	341.0	381.8	283.9	285.9	338.7	300.4
60歳	393.4	464.8	318.4	303.1	—	—	279.3	304.9	278.3

学歴・職種間で比較すると、当然のことながら大学・大学院卒が最も高くなっており、年齢加算する毎に学歴間

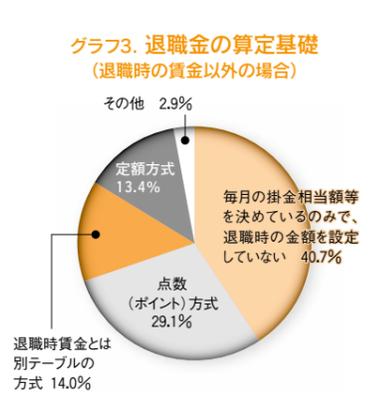


### 年間賃金調査

県内企業に勤務している常用労働者に対して支給された平成17年の年間賃金調査結果は次の通りである。

	定年・会社都合		自己都合	
	勤続年数(年)	退職金額(千円)	勤続年数(年)	退職金額(千円)
高校卒	5	409	5	271
	10	1,179	10	827
	20	3,547	20	2,854
	30	6,633	30	5,856
	35	8,499	35	7,581
大学・短大卒	42	10,117	42	8,439
	5	505	5	311
	10	1,436	10	946
	20	4,258	20	3,340
	30	8,376	30	7,254
	38	11,108	38	9,602

なお、退職金の算定基礎となるものは「退職時の賃金」が62・6%、「退職時の賃金以外」が30・8%となっており、後者の場合は「毎月の掛金相当額を決めているのみ(確定拠出型年金制度)」「点数(ポイント)方式」「別テーブル方式」の順で採用している。

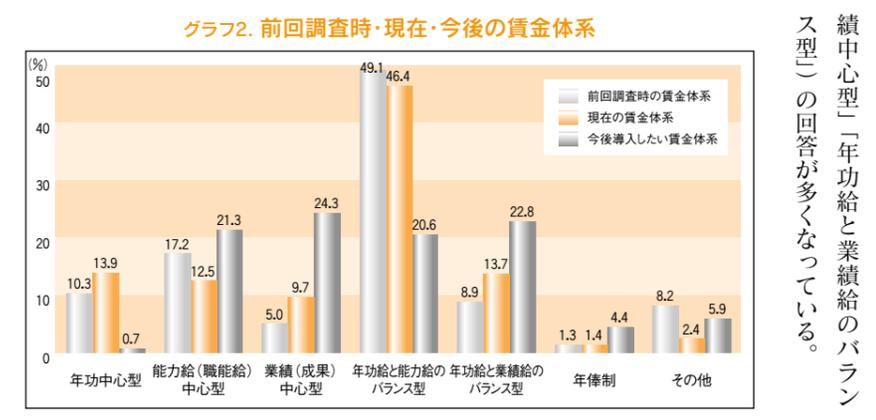


【お問い合わせ】  
経営支援課 TEL 0776-3318283  
詳細な調査結果は、「平成18年度福井県賃金実態調査報告書(定価1,000円)に掲載しています。」

年齢	大学・大学院卒			短大・専門学校卒			高校卒		
	全体値	総合職	一般職	全体値	総合職	一般職	全体値	事務・販売	生産・技術
20歳	—	—	—	—	—	—	2,405	2,151	2,584
22歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25歳	3,254	3,394	3,152	2,977	3,292	2,866	3,052	2,736	3,237
30歳	3,946	4,219	3,716	3,502	3,883	3,281	3,624	3,233	3,849
35歳	4,787	5,118	4,370	4,138	4,459	3,868	4,008	3,875	4,155
40歳	5,228	5,689	4,524	4,461	4,578	4,028	4,374	3,901	4,640
45歳	5,873	6,457	5,131	5,017	5,698	4,340	4,593	4,517	4,820
50歳	6,104	6,570	5,421	5,339	6,358	4,289	4,666	4,587	4,847
55歳	6,442	6,851	5,559	5,165	5,970	4,675	4,577	5,217	4,712
60歳	5,756	6,424	4,616	4,492	—	—	4,364	4,737	4,426

### 賃金制度に関する調査

現在採用している賃金制度では「年功給と能力給のバランス型」が最も多く、「年功中心型」「年功給と業績給のバランス型」と続く。依然として、年功給をからめた賃金体系が多いが、前回調査(平成16年)と比較すると「業績(成果)中心型」「年功給と業績給のバランス型」といった「業績(成果)」を重視する賃金体系も増えてきている。今後導入したい賃金体系についても、業績(成果)を重視した賃金体系(業



### 退職金に関する調査

各学歴の勤続年数に応じた退職金額は表3の通りとなった。学歴が高いほど、また自己都合より会社都合(定年含む)ほど退職金額の支給は大きくなっており、大卒の定年(勤続38年)の場合、退職金額は11,108千円となっている。